

令和2年度福島県市町村社会教育担当者研修会

令和2年8月27日（木）28日（金）

郡山市立中央公民館

研修テーマ：これからの時代を担う社会教育の在り方について
～社会的包摂と Society5.0 の世界～

□8月27日（木）

○講話「人形浄瑠璃で、地域の絆を取りもどそう！」

郡山市立日和田公民館 館長 井上 まゆみ 氏



◇受講生の感想より

- ・地域の素材を使い、世代間で交流を図りながら行っている講座はとても参考になった。
- ・常に情報を収集することの大切さ、ご縁を大切にすることの重要性、前向きにアクティブに行動すること等の気づきがあった。

○講義「これからの時代を担う社会教育の在り方」

尚綱学院大学 教授 松田 道雄 氏



◇受講生の感想より

- ・地域課題への向き合い方が分からなかったが、大きなヒントを得ることができた。
- ・ちょっとしたものの見方の違いでこんなにももの本質に近づくことができるんだと驚いてしまった。有意義な研修だった。

□8月28日(金)

○講演「**斎川の地域づくりの歩み～若者を巻き込んだ地域づくり～**」

白石市斎川公民館 館長 畑中 多賀男 氏
斎川まちづくり協議会 事務長 佐藤 幸枝 氏



◇受講生の感想より

- ・自分の地区にも当てはまる課題に取り組まれている事例だったため、とても参考になった。地域のことについて、住民皆で考え直す場が必要だと感じた。
- ・全戸へのアンケートや若者会議、会議・組織・棚卸しなどとても参考になった。

○実践発表「**コミュニティ施設がもつ使命と可能性～わたしたち事の社会実現～**」

福島市アクティブシニアセンター・アオウゼ 事業統括コーディネーター 馬場 雄基 氏



◇受講生の感想より

- ・公民館が地域づくりとどのように関わったらいいのかよくわからないまま日々の業務に追われていましたが、お話を聞いて理解することができた。
- ・「講座企画数や来館数ではなく、どれだけ住民のため、街の活気のために貢献できたか」「市の課全てと連携し、県、国、世界」にも目を向けることが大切だと思った。